

花より 団子!

桜もキレイ! お弁当も旨い! こでらんはない!



待ち遠しかった春が来ました。待ってましたとばかり、さっそくお花見に行ってきました。あの三春滝桜から株分けしたというのが、館沢地区の大内一夫さん宅にある枝垂桜です。春の日差しの中、薄紅色の花とレンギョウの黄色の花のコントラストに思わず「きれいだびした」とため息をついていました。今年のお花見弁当はそらいろデイの庭にある枝垂れ桜の下で開催しました。暑くもなし、寒くもなし。薄日の差し絶好のお花見日よりの中、スタッフ手づくりのお弁当に舌鼓! 「桜もきれい。弁当もうまい。こでらんはない」。みなさんいい笑顔を見せていました。

そらいろプロジェクト・次の挑戦

テーマは「共有地をつくる」

そらいろデイを起点に、市街化調整地域に新たな人のつながりを

そらいろデイ開設から2年が経過しました。地域の方々に支えられ、事業もなんとか軌道に乗ってきた感があります。改めて関係者のみなさまにお礼申し上げます。さて、そらいろデイ開設がそらいろプロジェクトの最初のステップなら、そろそろ次のステップへ踏み出そうと思います。

そもそも「そらいろプロジェクト」の最終目的は、多様な人たちが暮らし、働き、学び、遊び、互いに支えあうコミュニティづくりです。実現には市街化調整区域（都市計画法）というハードルを越えなければなりません。原則、農業以外の営みは認めらず、親族のみが住み続けなければならないという法制度に50年以上も縛られてきた地域です。実際、そらいろデイの建物は養蚕用住宅として登録されていたわけですが、用途変更が認められ、介護事業の場に変わることでできたわけですから、次の事業展開も実現可能だと考えています。

離農、後継者不足、高齢化、少子化が進むこの地域に、新たな人のつながりをつくる試みです。そのための活動テーマが「共有地をつくる」です。共有地とは、誰のものでもあり、誰のものでもない「場」です。そらいろデイでは、先の地震により土蔵と石蔵2棟が被害を受け、このほど解体となりました。その跡地も含めた敷地1,600平方メートル、畑15アール、田んぼ50アール。こうした残された資産を多くの方々と構想し新たな場に創造したいと考えています。具体化に向け、そらいろプロジェクト、再始動です。



スタッフ募集中です。週2日から4日程度。問合せは下記まで そらいろデイ

担当：石幡 電話 024-582-3558 携帯 090-6470-2280